

かがやき出前講座

ご利用ください！

かがやき出前講座は、市職員による行政の取り組み紹介や、市民講師による経験や知識を生かした講義などを、ご要望に応じて、お近くの集会所などに出向いて行うものです。学校や地域活動、研修会などさまざまな機会にご利用ください。

- 対象/市内に在住・在勤・在学する原則10人以上で構成された団体・グループ
- 開催時間/午前10時から午後9時までの間で2時間以内
- 開催会場/市内（会場の手配や準備は申込団体でお願いします）
- 講座内容/市民活動推進課や地区センター、サービスセンターなどで配布の「大垣市かがやき出前講座ガイドブック」(市HPからダウンロード可)の講座メニューから選択
- 受講料/行政講師編は無料。市民講師編は、講師料や材料費など必要な場合があります



市HP



- 申込/行政講師編は開催希望日の6か月前から3週間前まで、市民講師編は開催希望日の3か月前から3週間前までに、ガイドブック付属の申込書に必要事項を記入し、市民活動推進課（〒503-8601 丸の内2-29、☎47-7184、FAX81-7800）へ

職業訓練センター パソコン講座

職業訓練センターでは、地域で働く人の技能養成や職業能力の開発・向上を目指すため、基礎から応用まで学べるパソコン講座を開催しています。

- ◆講座番号・講座名/[15]じっくり学ぶアクセス2016（初級～応用）
- ◆対象/エクセル初級程度の知識がある人
- ◆とき/6月15日～7月16日〈全10回〉いずれも月・木曜日の午後6時30分～9時30分
- ◆ところ/職業訓練センター
- ◆定員/6人（先着順）
- ◆受講料/15,000円（中小企業勤務以外は24,500円）
- ◆申込/6月8日（必着）までに、職業訓練センターHPから申込。またはファクスか往復はがきに講座番号・講座名・住所・氏名・生年月日・電話番号・職業・勤務先・雇用保険加入の有無を記入し、同センター（〒503-0963 西大外羽1-226-1、☎・FAX89-4976）へ
- ◆備考/最少開講人数に満たない場合は中止。テキスト代は実費



関ヶ原合戦420周年記念の特設花壇

「フラワーガーデン」



市は、四季折々の花飾りで関ヶ原合戦420周年を彩ろうと、大垣駅南口広場に令和3年3月まで特設花壇を設置しています。

春には、ペチュニアで石田三成の家紋をデザインした花壇を展示＝写真＝。夏にはガーベラなどを植栽し、今後も季節ごとに花苗を植え替えます。また、期間中は毎日午後9時までライトアップを行います。

詳しくは、公園みどり課（☎47-8409）へ。

親子 いも掘り体験

- 対象/ひとり親家庭の小中学生とその弟や妹および保護者
- とき/6月14日（日）午前10時～正午 ※南部子育て支援センター集合
- ところ/昭和1丁目地内の畑
- 内容/親子でじゃがいも掘りを体験
- 定員/20組（先着順）



- 申込/6月7日までに、大垣市母子父子寡婦福祉連合会（南部子育て支援センター内、☎47-7014）へ
- 備考/同センターは休館中のため、電話でお申込みください

市民伝言板

福祉レクリエーションセミナー 簡単！やってみよう！宅トレ！

- *とき/6月20日（土）午前10時～正午
- *ところ/青年の家
- *内容/自宅に居ながら、一人でも楽しくできるトレーニングを紹介

- *定員/25人（先着順）

- *持ち物/運動ができる服装、上履きの運動靴、タオル、飲み物、マスク



- *申込/NPO法人大垣市レクリエーション協会（☎・FAX78-9369）へ

空家の適切な管理をお願いします

近年、適切な管理が行われていない空家が増加しており、屋根・外壁の脱落や飛散、防犯面などの問題が生じるおそれがあります。

空家の所有者は、普段から適正管理について意識するとともに、管理していくことが必要です。

詳しくは、住宅課（☎47-8184）へ。

ポイント① 空家の定期的な見回りを！

空家は、個人の財産であり、空家の所有者が管理をしなければなりません。所有する土地、建物が他者に被害を与えた場合、その所有者（相続人を含む）や管理者、占有者が責任を負うことが民法で定められており、当事者間での解決が基本となります。

所有者は、隣の家屋や道路など周辺への支障がないように定期的に見回りをしましょう。

ポイント② ご近所・自治会へ連絡を！

離れた場所に住んでいる所有者や関係者などは、近隣の人たちや自治会に連絡先を伝えておくなど、すぐに対処できるようにしましょう。

ポイント③ 空家の将来を考える！

現在、適切な管理をされている空家も、将来にわたり管理し続けることが困難な場合もあります。

将来のことを考え、空家の貸家としての活用や、中古住宅として売却するなど積極的な利活用をご検討ください。また、空家を使用する予定がない場合は解体も検討しましょう。

今後、自分の家が空家になる可能性がある人は、方向性について、親族で話し合いの場を持つようにしましょう。

